

平成14年度第1回ふれあいトーク —— どんぐり会 ——



障害者福祉の充実に向けて

- 日時 平成15年2月19日（水）18：30～20：30
- 場所 保健福祉センター（あいあい21）かしわホール
- 出席者

どんぐり会
 さかた 坂田 明久さん・小野 国市さん・たぐちえみこ 田口恵美子さん
 しばた みねこ 前田 よしこ 田中恵美子さん
 やまざき ようこ つりい みづえ かわはら 川原まき子さん
 やまざき 山崎 葉子さん・釣井 瑞恵さん・川原まき子さん
 はせがわ なおみ 小笠原美代子さん

芽室町
 とこやま 常山 誠町長
 たにくち 谷口 正之企画調整課長
 ささじま 笹島 優司保健福祉課長
 さとう 佐藤 三舟福祉係長
 てしま 手島 旭企画調整係長
 さいとう 齋藤 和也広報広聴係主事（記録）

障害児を預かることができる 施設の設置を望みます

どんぐり会

私たち障害児を持つ親は、将来に不安を持たずに暮らしたいと願っています。それは、将来子どもの行く末がどうなるのかという不安であり、私たち親が年齢を重ねるほど、その不安は大きくなっていきます。

今年1月に知的障害者授産施設（通所）「オークル」（西土狩北4線48番地）が開設し、知的障害者の働く場所は保証されましたが、土曜日などの休日や、親が病気のために預かってくれる施設があるとうれしいのですが。

誌面の都合上、掲載量が限られましたので内容は要約してあります。ご了承ください。

町長

平成14年3月に社会福祉法人柏の里めむろが設立されました。今後の障害児(者)の支援事業などは、社会福祉法人が核となり進めていただきたいと考えています。

しかし、社会福祉法人が新しく設立された場合、設立後3年間は、独自の新規事業を行うことはできないこととなっています。ですからその間は、3年後の新たな事業展開について検討したり、安定した運営に向けた基盤作りをするなど、次のステップのための準備期間になると考えています。

皆さんには、このことを理解していただいた上で、社会福祉法人柏の里めむろなどと協議をして、最善の方法を検討していただきたいと思います。

どんぐり会

私の子どもは、帯広市の施設で行っているショートステイにはあまり行きたがらないので、できれば芽室町で子どもを預けることが可能な場所の設置を望みます。

特に障害を持つ子どもは、異なる環境に慣れるまでには相当の時間が必要です。また、障害者の特性によって、健常の子どもを預かるのと違い、誰でも面倒を見ることができるといわけにはいきません。

せっかく、旧アットホームめむろの施設(東4条南4丁目1番地)を障害者福祉団体の拠点として利用できるのですから、町として託児に必要な人件費を負担するなど、何らかのバックアップをしていただけませんか。

保健福祉課長

障害者福祉団体の旧アットホームめむろの施設の利用に際して、電気・水道などの経費のうち基本料金は全額、超過分は超過額の半分を町で支援していく考えです。また、維持管理費についても、ある程度の予算を見込んでいますので、簡単な備品の購入や修繕などについては、今後、協議会と話し合いを持ちながら進めたいと思います。

予算に余裕があれば、人員を配置して運用したいところですが、町の財政事情も非常に厳しいので、障害者の憩いの場として利用していただき、もし人員を雇用した場合には、皆さんでその経費を賄っていただくなど、利用者の自主運営を期待しています。

ひとくち解説

旧アットホームめむろ施設

(芽室町東4条4丁目1番地)

町立心身障害者地域共同作業所として平成2年に開設、平成4年には芽室小学校南側へ移転し運営してきたが、知的障害者授産施設(通所)オークルの設立とともに、アットホームめむろの機能も西士狩へ移転することとなり、施設は平成14年12月で閉鎖となった。今後は障害者福祉団体の利用が予定されている。

社会福祉法人柏の里めむろ

(山本孝二理事長・芽室町西士狩北4線48番地)

アットホームめむろへの通所者の増加、事業の拡大などに対応するため、平成14年3月に設立。知的障害者授産施設(通所)「オークル」の経営などを行う。

知的障害者授産施設(通所)オークル

(芽室町西士狩北4線48番地)

(社福)柏の里めむろが建設し経営する認可施設。スクリーン印刷やEMボカシ、木工、廃油石けんを作業種目とし、現在26人(定員30人)が通所して作業を行っている。

町立心身障害者地域作業所アットホームめむろ

(芽室町西士狩北4線48番地)

芽室小学校南側から移転した無認可施設。運営は町から委託を受けた(社福)柏の里めむろが行っている。現在5人が通所し作業を行っている。

社会福祉法人の活動について

新設の社会福祉法人がさらに新たな事業を実施する場合には、北海道の運営要項に基づき、事業開始後3年以上健全に運営され、かつ、経営基盤が確立されているものとされています。

社会福祉法人柏の里めむろの社会福祉事業については、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、知的障害者授産施設(通所)オークルの経営を行うものです。